

■ 8.17 災害、被害状況

人	死者	7人
	重軽傷	9人
家屋	全壊	13戸
	半壊	20戸
	流失	3戸
	床上浸水	126戸
	床下浸水	283戸
	非住宅	938棟
土木	道路決壊	233力所
	河川決壊	178力所
	砂防決壊	34力所
	橋梁流失	19力所
農林業	田・畑流失・埋没	23.4ha
	農作物被害	436.0ha
	シイタケ原木流失	25,000本
	錦ゴイ流失	70,000匹

そのほか、農道、林道、三和小学校などに被害大



濁流が家の土台を削る（中川浦）

8.17災害

山崩れ、鉄砲水が7人の尊い命を奪いました



道路にあふれた流木（上川浦）

災害のことを調べています



被害が大きかったことにショックを受けました

●酒向理沙さん
(双葉中3年)

小学生の時にあったほたるコンサートでの発表で、8.17災害のことを少し調べたので、今回もっと詳しく知りたいと思い、夏休みを使って調べことにしました。

今回、初めて災害の写真を見ましたが、自分が思っていた以上に、被害が大きかったことにショックを受けました。

柴田さんの話で、身動きを取ることが困難だったことなど、写真からでは分からないことも聞いてよかったです。

昭和43年8月17日夕刻から18日未明にかけて、雷を伴った豪雨が中濃地方を襲い、市北部を中心に大きな被害をあたえました。

市内では387ミリの降雨があり、三和町川浦地区を中心に伊深町、蜂屋町、山之上町などの山間部では、山崩れや鉄砲水、河川のはんらんが起こり、住宅、田畑が土砂、流木で埋まりました。想像を絶するこの災害は、死者7人を出すという、大惨事になりました。

政府調査団や衆議院災害対策特別委員らも来市し、被災地を調査しました。岸東八郎市長(当時)は、「被災地を見ていただければ、いかに被害が大きいものであるか目と耳で確かめていただけます。全市民が不眠不

休で頑張っています。1日も早く国の力で復旧していただきたい」と陳情しました。

また9月12日には佐藤榮作総理大臣(当時)が来市し、被災現場を視察し、佐藤総理大臣に対して被災地の『声』を強く訴えました。

この豪雨で、加茂郡白川町の国道41号線では、2台の観光バスが飛騨川に転落し、104人の尊い命が奪われました。



▲佐藤総理大臣に災害状況を説明する岸市長

を聞く、酒向さん